

星と環境

昨年度、三重県で初めて開催した「みえ星空環境案内人養成講座」。29名が星と人と環境の懸け橋となる指導者として誕生しました。

24年度「みえ星空環境案内人養成講座」を開催するにあたり、当講座の講師でもある、亀山市関町坂下で活動する瀧本さんにお話を伺いました。

お話を伺った人



坂下星見の会 代表

たきもと ますみ
瀧本 麻須美さん

みえ星空環境案内人講師
天文台「童夢」運営スタッフ
亀山市教育委員会 社会教育委員
JAXA宇宙教育センター 宇宙教育リーダー
いきいきキッズ応援団サポーター
子ども宇宙探検隊

瀧本さんが住んでいる亀山市関町

坂下は、滋賀県との県境に位置する、古くは東海道五十三次の宿場町のひとつです。鈴鹿峠の山並みが間近まで迫っており、豊かな自然に囲まれたこの場所は星空観察に絶好の環境です。

上の写真はフォトグラファーでもある瀧本さんが坂下の鈴鹿峠自然の家から撮影した夏の星空です。夏の大三角だけでなく、天の川がくっきりと映っています。瀧本さんは「この美しい坂下の星空を自分たちだけでなく、たくさんの人に見てもらいたい」という想いから、坂下星見の会を結成し、現在は亀山市を中心に活動しています。

本来、天の川は見えるもの

坂下星見の会が環境省の全国星空継続観察に参加し、坂下での星空観察

を始めて7年になります。

毎年夏・冬の2回、観察を続けてきて「以前と比べると、坂下の夜空も明るくなったかな」と瀧本さんは感じているそうです。坂下が明るくなったのではなく、周辺の街明かりが反射し、坂下の空まで明るく照らしています。このように夜空が明るくて星が見えにくい環境になってきている原因は「光害」によるものです。

本来、どこでも月明かりがない時には、肉眼で夜空に天の川を見ることができます。過剰な照明や、上空に漏れる光が大気中のちりやほこりに当たり拡散されて夜空を明るくしているのです。

瀧本さんは活動しているうちに「光害」公害であることを知らない人がたくさん居るので、光害についての認識を広めていきたい」と思うようになりました。



■全国星空継続観察
全国の一般市民が参加し、身近な光害や大気汚染などについて関心を高めることを目的に、昭和63年から実施されています。